

***BOSE***<sup>®</sup>



---

# COMPANION<sup>®</sup> 20

## MULTIMEDIA SPEAKER SYSTEM

---

Owner's Guide | オーナーズガイド

## 安全上の留意事項


### このオーナーズガイドは必ずお読みください


オーナーズガイドの指示に注意し、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分にご活用いただくために役立ちます。また、必要な時にすぐにご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

**警告：**火災や感電を避けるため、製品を雨にあてたり、湿度のある場所で使用しないでください。

**警告：**水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が浸入すると、故障や火災の原因となることがあります。



 正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に警告するものです。

 正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、この取扱説明書の中で、取り扱い上およびメンテナンス上、重要な項目であることをお客様に警告するものです。


**警告：**火の付いたろうそくなどの火気を製品の上や近くに置かないでください。

## 安全上の留意事項

**注意：**システムまたはアクセサリを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、システムの安全性と性能が損なわれるだけでなく、法令遵守の問題が生じ、製品保証が無効となる場合があります。

**注意：**大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。ヘッドホンを長時間使用する場合は、過度な音量を避けるようにしてください。

**注意：**スピーカーシステムに付属の電源アダプターを使用してください。

 This product conforms to all EU Directive requirements as applicable by law. The complete Declaration of Conformity can be found at [www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance).

## 安全上の留意事項

---

### 注記:

- 製品ラベルは本体下部にあります。
- この製品には付属の電源アダプターを使用してください。
- この製品は室内専用です。屋外、RV 車内、船上で使用するには設計されていません。また、このような使用環境におけるテストも行われていません。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

### その他のご注意

その他の注意については、パッケージに同梱の『安全上の重要なご注意』シートを参照してください(北米のみ)。

iPod は、米国および他の国々における Apple Inc. の商標です。

©2011 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

## 安全上の留意事項

### Information about products that generate electrical noise

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver. Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced technician for help.

**Note:** Unauthorized modification of the system could void the user's authority to operate this equipment and may void the warranty.

This product complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications.

### 今後のお問い合わせのために

製品に関するお問い合わせ等に必要となりますので、R側スピーカーの底面に記載されているシリアル番号を、下の欄と保証書に記入してください。

シリアル番号： \_\_\_\_\_

購入日： \_\_\_\_\_

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをお勧めします。

## 安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 絵表示について



#### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



#### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

### 警告



電源プラグを抜く

変なにおいや音がしたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く  
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、弊社特約店に修理をご依頼ください。



電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く  
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社特約店に点検をご依頼ください。特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。



専用品を使用

ACアダプターは付属の専用品を使用する  
専用ACアダプター以外の使用は、火災や感電の原因となります。また、本機の専用アダプターを他の機器に使うこともお止めください。

### 警告



電源プラグを抜く

落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く  
そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社特約店に点検をご依頼ください。



交換を依頼

電源コードや電源プラグが傷んだ場合は交換する  
電源コードや電源プラグが傷んだ状態（芯線の露出、断線、変形など）で使用すると、火災や感電の原因となります。弊社特約店に交換をご依頼ください。



専用品を使用

電源コードは付属の専用品を使用する  
専用電源コード以外の使用は、火災や感電の原因となります。また、本機の専用電源コードを他の機器に使うこともお止めください。

## 安全上の留意項目

 <b>警告</b>	 <b>警告</b>
 <b>必ず実行</b> <b>電源プラグは、抜き易い位置にあるコンセントに接続する</b> 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。	 <b>禁止</b> <b>不安定な場所に設置しない</b> ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。
 <b>確実に差す</b> <b>電源プラグは根元まで確実に差し込む</b> 差し込みが不完全な場合、発熱による感電や火災の原因となります。また、ほこりがたまり易くなったり、プラグの金属部分に触れる危険性があります。	 <b>禁止</b> <b>機器内部に水をたらしたりかけたり、花びんのよう</b> <b>に水を満たしたものをそばに置かない</b> 他の電気製品と同様に、機器内部に水分をこぼしたりしないでください。故障や火災の原因となります。
 <b>適切な電源 (AC100V) を使用</b> <b>交流100ボルトの電源を使用する</b> 海外などで、表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用すると、火災や感電の原因となります。	 <b>水場での使用禁止</b> <b>風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かない</b> 機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。
 <b>禁止</b> <b>電源コードを傷付けない</b> 電源コードを傷付けたリ、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。特に、電源プラグ部分やコードが本体から出ている部分はお気を付けてください。	 <b>水ぬれ禁止</b> <b>水の近くまたは湿度の高い場所で使用しない</b> 機器内部に水が入った場合、火災や感電の原因となります。
 <b>禁止</b> <b>タコ足配線をしない</b> コンセントや配線器具に同時に多数の機器を接続して電源を取ると、コードなどが過熱し、火災の原因となります。	 <b>ぬれ手禁止</b> <b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b> 感電の原因となります。
 <b>禁止</b> <b>異物を入れない</b> 通風孔などから物を入れると火災や感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。	 <b>火気禁止</b> <b>機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない</b> 引火して火災の原因となります。
 <b>禁止</b> <b>通風孔をふさがない</b> 布をかぶせたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、通気が不十分な狭いスペースに押し込んだりしないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因となります。	 <b>接触禁止</b> <b>雷が鳴り出したら、本体やケーブル類に触れない</b> 感電の原因となります。
	 <b>分解禁止</b> <b>本体のカバーを外したり、分解や改造をしない</b> 火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、弊社予約店にご依頼ください。
	 <b>禁止</b> <b>大音量で長時間続けて聞かない</b> 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンのご使用時にはご注意ください。

## 安全上の留意項目

<p><b>⚠ 注意</b></p> <p><b>禁止</b> 高温の場所に置かない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置・保管しないでください。過熱や部品の変形などにより、火災や感電の原因となることがあります。</p>	<p><b>⚠ 注意</b></p> <p><b>電源プラグを抜く</b> 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く 本機は電源を切った状態でも、常に微弱な電流が流れています。長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
<p><b>禁止</b> ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない ほこり、油煙、湿気、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。</p>	<p><b>電源プラグを抜く</b> お手入れのときは電源プラグを抜く 安全のため、お手入れは電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。</p>
<p><b>必ず実行</b> 移動させる場合は、電源コードその他の接続線を外す 電源コードに無理な力が加わって傷付き、火災や感電の原因となることがあります。また他の接続線が引っかかり、けがの原因となることがあります。</p>	<p><b>禁止</b> 落としたり、ぶつけたり、上に物を乗せたり、水に浸したりしない 故障の原因となります。</p>
<p><b>引っぱり禁止</b> 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない 電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。</p>	<p><b>必ず実行</b> 電源プラグにほこりがたまっていないことを確認する 電源プラグを差しあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。掃除の際はクリーナーなどの液体がコンセントの周囲にかからないようにしてください。</p>
<p><b>注意</b> ゴムやビニール製品に本体を長期間接触させない 外装が変質し跡が残ることがあります。</p>	<p><b>注意</b> 表面を変質させる素材を使わない シンナー、ベンジン、アルコール類などの揮発性の薬品やクレンザーなどの研磨剤で外装を拭かないでください。破損、変質、変色、塗料のはがれや表面に傷を付ける原因となります。</p>
<p><b>手を入れない</b> スピーカー開口部に手を入れない けがの原因となることがあります。特にお子様がいらっしゃるご家庭ではご注意ください。</p>	
<p><b>音を小さく</b> 電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。</p>	
<p><b>禁止</b> 長時間音が歪んだ状態で使用しない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>	



## 目次

---

はじめに .....	10
セットアップ .....	11
付属品の確認 .....	11
スピーカーとコントロールポッドの配置 .....	12
接続 .....	14
ケーブルの接続 .....	14
外部機器の接続 .....	16
ヘッドホンの接続 .....	16
スピーカーシステムの使用 .....	17
システムの電源を入れる .....	17
音量を調節する .....	17
自動スタンバイ .....	18
故障かな?と思ったら .....	19
お問い合わせ先 .....	22
お手入れ方法と仕様 .....	23
システムのお手入れについて .....	23
仕様 .....	23
保証 .....	24

## はじめに

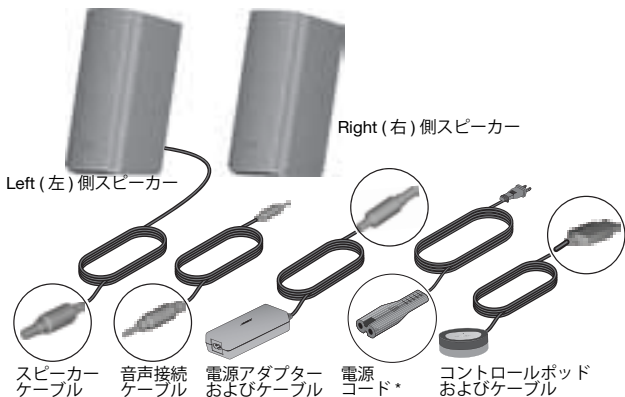
この度は Bose® Companion® 20 マルチメディアスピーカーシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このスピーカーシステムには、次の特長があります。

- デスクトップからお部屋全体まで、2 台のスピーカーだけで豊かで自然なサウンドが広がります。
- どんなコンピューターにもマッチする、流麗でコンパクトなデザインです。
- 音量調節/ミュート機能およびヘッドホンジャック/外部入力端子が集約されたコントロールポッドが付属しています。
- 独自の TrueSpace® ステレオデジタルプロセッシング回路を搭載し、2 台のスピーカーだけで広がりのある自然なサウンドを実現しています。ライブ感溢れる空間で音楽、ゲーム、ビデオをお楽しみください。
- デジタルシグナルプロセッシング回路は、音量の大小にかかわらず引き締まったクリアなサウンドを再生する、当社独自の機能です。
- 新設計のポートおよびドライバーにより、力強い重低音と豊かな奥行き感を再現しています。

## セットアップ

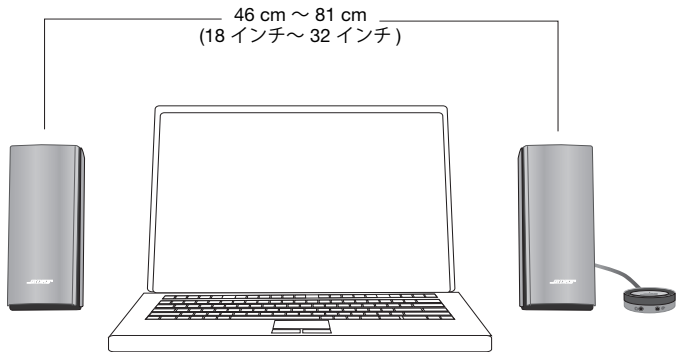
### 付属品の確認

下図の付属品が全て同梱されていることを確認してください。付属品が不足している場合や損傷などが発見された場合は、お買い上げになった販売店までご連絡ください。箱と梱包材は、輸送用として後日使用する場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。



\*ご使用の国によって形状が異なります。

## スピーカーとコントロールポッドの配置



スピーカーは小型でスリムなデザインで、コンピューターの横に置いても邪魔になりません。より良いサウンド空間を実現するため、配置の際は以下のガイドラインを参考にしてください。

- 左右のスピーカーをコンピューターの画面中央から均等な距離に置きます(スピーカーのLRは背面パネルに記載されています)。

## セットアップ

---

スピーカー同士の距離は 46 cm から 81 cm の間にしてください。

- スピーカーグリルの前面下部を直接さえぎる場所に物を置かないでください。この位置にスピーカードライバーが配置されています。
- コンピューターのモニターに音がさえぎられるほど後方にスピーカーを置かないでください。
- コントロールポッドは操作しやすい場所に置きます。
- スピーカーの前面とコンピューターの画面が真横に並ぶくらいの位置か、画面よりやや手前にスピーカーを置きます。

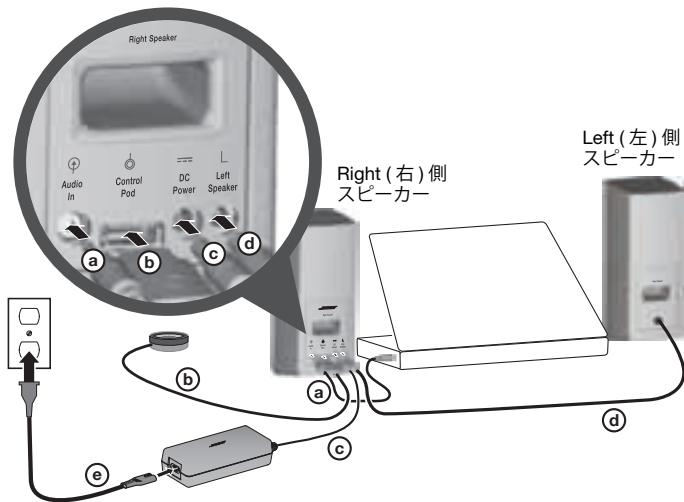
## ケーブルの接続

付属のケーブルと電源コードを、15 ページの図のとおり接続します。

**注意：**電源コードは、他のケーブルの接続を終えた後に接続してください。

1. 音声接続ケーブル ㉑ の片側を Right (右)側スピーカー背面の **Audio In** 端子に差し込みます。
2. 音声接続ケーブルのもう片側をコンピューターのヘッドホン出力またはスピーカー出力(表記と位置は機種によって異なります)に差し込みます。
3. コントロールポッドのケーブル ㉒ のプラグを Right (右)側スピーカーの **Control Pod** 端子に差し込みます。
4. 電源アダプターの DC ケーブル ㉓ を Right (右)側スピーカーの **DC Power** 端子に差し込みます。
5. Left (左)側スピーカーのケーブル ㉔ を Right (右)側スピーカーの **Left Speaker** 端子に差し込みます。
6. 電源コードのアダプター側プラグ ㉕ を電源アダプターに差し込んでから、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

## 接続



## 外部機器の接続

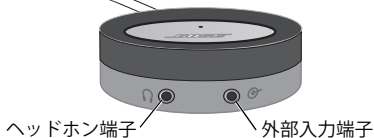
コントロールポッドには、3.5 mm プラグ付きケーブル(別売)を使用して iPod や MP3 プレーヤーなどの外部機器を接続できます。外部機器の音声は、コンピューターからの音声と混合されて同時に聞こえます。

### 外部機器を接続するには：

外部機器に接続された 3.5 mm プラグ付きケーブルをコントロールポッドの外部入力端子に差し込みます。外部機器の音声がコンピューターの音声と混合されないようにするには、コンピューターの音声をミュートします。

## ヘッドホンの接続

3.5 mm ステレオミニプラグ付きヘッドホン接続できます。3.5 mm プラグ付きケーブルをコントロールポッドのヘッドホン端子に差し込みます。Companion® 20 システムにヘッドホン接続すると、スピーカーからは音声が再生されなくなります。

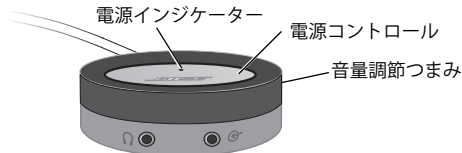




## スピーカーシステムの使用

### システムの電源を入れる

コントロールポッドの上面に触れると、スピーカーシステムの電源がオンになり、電源インジケータが点灯します。コントロールポッドの上面にもう一度触れると、スピーカーシステムの電源がオフになり、電源インジケータが消灯します。



### 音量を調節する

コントロールポッドの音量調節つまみ(外側上部のリング)を右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

### 外部機器に音量調節機能が付いている場合：

1. Companion® 20 システムの音量調節つまみをいっぱいまで左に回し、音量を最小(ゼロ)にセットします。
2. 外部機器の音量を最大より少し下にセットします。  
音量を上げても、Companion® 20 システムの音量が最小にセットされているため、スピーカーから音声は再生されません。

## スピーカーシステムの使用

**注意：**音声が歪む恐れがあるので、外部機器の音量は最大にしないでください。最大音量の 80% 程度にセットするだけで十分です。

3. Companion® 20 システムの音量調節つまみを右に回し、好みの音量の位置で止めます。

### 自動スタンバイ

音声信号を受信しないまま、または音量が最小にセットされたまま 2 時間経過すると、Companion® 20 システムは自動的にスタンバイ状態に移ります。自動スタンバイを無効にして、電源に接続されている間は常にシステムをオンにしておくこともできます。

### 自動スタンバイを無効にするには：

コントロールポッドの上面(電源インジケーター付近)を、高音と低音のビープ音が聞こえるまでおよそ 6 秒間軽く長押しします。

### 自動スタンバイを有効に戻すには：

コントロールポッドの上面(電源インジケーター付近)を、低音と高音のビープ音が聞こえるまで軽く長押しします。

## 故障かな？と思ったら

---

コンピューターや外部機器の音量を下げ過ぎると(最大音量の $\frac{2}{3}$ 未満)、出力が小さくなり過ぎて、Companion® 20 システムの音量が十分に上げられなくなる場合があります。

コンピューターの音量調節は、以下の方法で行います。

- コンピューター本体に付属のスイッチやボリュームで操作します。
- 画面上でコンピューターの OS から操作します。
- メディアプレーヤーソフトウェアなどの音量調節部を操作します。

Companion® 20 システムの音量が小さすぎる場合は、いずれかの方法による音量調節をお試しく下さい。

## 故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スピーカーの電源がオンになっている（コントロールポッドの電源インジケーターが点灯している）ことを確認します。</li> <li>• コントロールポッドの音量調節つまみが左にいっぱい（最小）まで回されていないことを確認します。</li> <li>• 接続されているコンピューターの電源がオンになっていて、音量が上がっており、ミュートされていないことを確認します。</li> <li>• 電源アダプターが Right (右)側スピーカーと電源コンセントまたは避雷器に接続されていることを確認します。</li> <li>• 電源コンセントに電源が供給されていることを確認します。避雷器またはテーブルタップを使用している場合は、電源がオンになっていることを確認します。</li> </ul>
Companion® 20 システムの音声が歪む	外部機器の音量を下げ、Companion® 20 システムのコントロールポッドを使用してスピーカーの音量を上げます。


## 故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
片側のスピーカーから音が聞こえない、または音が歪む	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Left (左)側スピーカーのケーブルが Right (右)側スピーカー背面の Left Speaker 端子にしっかりと接続されていることを確認します。</li> <li>• 再生機器のバランス設定をチェックします。</li> </ul>
コントロールポッドを使用して音量を操作できない	コントロールポッドのプラグが Right (右)側スピーカー背面の端子にしっかりと接続されていることを確認します。プラグを差し込む際には、十分な力を加えて押し込み、プラグを端子にしっかりと接続してください。
ヘッドホンから音が聞こえない	
接続された機器からの音が出ない	

## お問い合わせ先

### 故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 サービスセンター


お客様専用ナビダイヤル  0570-080-023

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

### 製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター

お客様専用ナビダイヤル  0570-080-021

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

## お手入れ方法と仕様

---

### システムのお手入れについて

スピーカーとコントロールポッドを乾いた布で拭きます。

- 溶剤や化学薬品などは使用しないでください。
- スピーカーの背面開口部、スピーカーグリル、コントロールポッドの端子などに液体や異物が入らないようにしてください。

コントロールポッドの底面がデスク上に吸着しなくなったら、糸くずの出ない布を水で湿らせて、コントロールポッドの底面を拭いてください。

### 仕様

#### ドライバーユニット

70 mm (2.75 インチ)ハイエクスカーション、ワイドレンジトランスデューサー

※ 本機の詳細寸法につきましては、弊社 Web サイト、ならびに Web サイト上に掲載される仕様書をご参照ください。

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。











348605-0010

***BOSE***<sup>®</sup>  
*Better sound through research*<sup>®</sup>

©2011 Bose Corporation, The Mountain,  
Framingham, MA 01701-9168 USA  
AM348605 Rev.01